

(別紙3)

文起第954号 - 1

令和元年9月27日

(施設名) 米子市美術館
(指定管理者) 一般財団法人米子市文化財団
(代表者名) 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司

平成30年度「米子市美術館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市美術館
施設所管課	経済部文化観光局 文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日 ~ 令和3年3月31日(8年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

特別共催展「アール・ヌーヴォーの華 ミュシャ展」は1万4千人の観覧者を記録。本市に寄贈されたアールヌーヴォー期のガラス工芸の10点の特別展示を実施。

また、伯耆国「大山開山1300年祭」特別企画「大山山麓の至宝」では大山にゆかりのある刀など計97点を展示。会期中には眞子内親王殿下の視察をはじめ、多くの方に国重要文化財の安綱の名刀などを観覧する機会を提供した。

その他、市展をはじめとする展覧会事業が、年度を通して円滑に行われたことは評価できる。また、収蔵品の管理も適切に行われており、全体として協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理が実施されていた。

【第三者評価】

① 施設について

- ・特に問題なく、良い管理をしている。(同意見多数)
- ・エレベーターの場所が分かりにくいので表示の改善をお願いしたい。
- ・美術館らしい展示方法など、工夫・アイデアに期待している。
- ・市役所、図書館との連続性が意識された外観ではあるが、美術館としての特徴が薄い。

② 管理について

- ・少ないスタッフでよく管理をされている。(同意見多数)
- ・申し分なし。

(裏面へ)

・水分の少ない生花の持ち込みなどは認められないか。

③ 事業について

- ・展示だけでなく関連事業にも力をいれていることが入場者の増加につながっていると思われる。
- ・企画内容も充実しており利用者も満足しておられるのではと感じている。
- ・新しい来館者の開拓への働きかけとなる事業展開により一層の利用促進を図りたい。特に若年層の利用促進のためにアウトリーチや学校教育との連携など。
- ・美術愛好家のハートにふれる企画はもちろんですが、一般の方が気軽に足を運べる企画に期待しています。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

- ・第三者評価を参考に更なる運営の向上を図っていただきたい。

【第三者評価】

- ・親子で鑑賞できる事業、子どもにも楽しめる事業を一つでも多く行ってほしい。
- ・地元出身の若手作家の発表の場となる事業を行ってほしい。
- ・子ども達にとって身近な美術館になってほしい。

平成30年度下期「米子市美術館」モニタリング評価表〔令和元年9月〕

施設名	米子市美術館	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土にゆかりのある優れた作家の美術作品等及び近代以降の版画作品等収集、保管、研究及び展示。 市展、県展、特別企画展（年間1回）、特別共催展、常設展（年間2回）、共催展（年間3回）、ミュージアムスクール（教育普及事業・年間3回）等	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（60点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた、人員を配備し、管理体制も明確であった。また、マニュアル等も作成し、安全対策、危機管理体制、態勢を整え利用者、使用者の安全確保に努めているため。資料等確認、立入検査
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	指定申請書に基づき、計画的に研修を受講している。 資料等確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	ミューシャ展では会期前にウェブレポーター鑑賞会を実施し参加者SNSでの広報発信を利用。会期中も作品（一部を除く）撮影可（平日限定）とした。

			<p>大山山麓の至宝展では重要文化財の太刀や郷土絵師の作品も展示し貴重な機会を演出した。</p> <p>金畑実展では、本人ゆかりの作家や教え子の作品も同時展示するなど地元の方の観覧増加に努めたため。資料等確認</p>
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 1 ※	B	<p>昨年度との比較では入場者数は下回ったが、市展、県展及び常設展など入場者数は増加した。</p> <p>台帳確認 補足資料1</p>
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	<p>サポーター制度、委員会、アンケートの実施等により要望把握に努め、適切に実現策をおこなっている。</p> <p>立入検査、資料等確認</p>
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づき、適切に行われた。第三者による点検業務は電気設備、エレベーター、空調、自動制御設備機及び消防用設備機器の最小限度であった。</p> <p>台帳確認、立入調査</p>
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	<p>協定書及び覚書に基づき、適切に実施した。敷地内の除草作業を行っており、館内では床面清掃を適宜実施し美化に努めている。台帳確認</p>
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づき業務を適切に実施している。</p> <p>台帳確認、立入調査</p>

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	展示室のクロスや備品等の簡易修繕を適切に行ったため。 台帳確認、立入調査
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	自主事業計画書に沿って適切に実施された。ミュシャ展、大山山麓の至宝、金畑展では関連事業も円滑に実施された。 資料確認
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の実施体制、管理体制を整備し、個人情報保護方針を作成し個人情報を慎重に取り扱っている。 資料確認、立入調査
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	施設の現状を正確に把握した上で今後の事業を計画しているため。資料確認
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	指定申請書に記載された提案は実施されている。各展覧会やミュージアムスクール等で利用者アンケートを実施し、回答は概ね利用者を満足させている内容であった。 資料等確認、立入調査
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	協定書に基づき業務を適切に実施している。 立入調査
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	指定申請書に基づき、サービス水準向上策を策定し実施し創意工夫のある内容であった。また、利用者への接遇、対応は適切であった。 資料等確認、立入調査

4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	ミュージアムスクールとして学芸員レクチャーを行うなど美術への興味を引くものであった。 資料等確認
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	出前講座等の様々なサービスを提案、実施し、芸術鑑賞の機会を提供するだけでなく、市の事業にも参加協力し美術に対する市民の教養等の向上にも取り組み、常に新しい試みを発案実施している。 資料等確認

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※ 2	B	事業収支は適切な水準であった。 補足資料2
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※ 3	B	経営状況分析指標は適切であった。 補足資料3
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※ 4	B	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であった。

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>特別共催展「ミュシャ展」、「大山山麓の至宝」、特別企画展「金畑実展」を開催したほか、共催展「鳥取県指定文化財展」などを実施。いずれの展覧会事業も円滑に行われ、教育普及事業もミュージアムスクール、ワークショップなどの様々な展覧会関連事業を行うなど、事業内容も工夫されており、円滑に管理運営を行っている。</p>	<p>合計点 (66)点 / (100)点 ×100 = (66) 平均点 (3.3)点</p>
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成30年 4～平成31年3 月〕A	前年度〔平成29年 4～平成30年3 月〕B	対 比 A－B、A/B		対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数（注 1）	314（242）	314（246）	0 （%）	100.00	
施設利用者数	66,449	76,734	-10,285 （%）	86.59	
施設稼働率（注2）	77.1%	78.3%	-1.2 （%）	98.46	
事業開催数	14	13	1 （%）	107.69	

（注1）（ ）の数字は展示日数

（注2）施設稼働率 展示日数/開館日数 により算出

※2 事業収支

（1）収 入

項 目	本年度〔平成30年 4～平成31年3 月〕A	前年度〔平成29年 4～平成30年3 月〕B	対 比 A－B、A/B		対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
指定管理料	51,912,000	58,048,000	-6,136,000 （%）	89.42	
使用料収入	3,354,102	3,560,055	-205,953 （%）	94.21	
事業収入	7,264,307	4,927,901	2,336,406 （%）	147.41	事業実績による
補助金等	0	500,000	-500,000		
雑収入	488,150	244,575	243,575 （%）	199.59	新刊図録売上による
負担金	0	0	0		
合 計	63,018,559	67,280,531	-4,261,972 （%）	93.66	

(2) 支 出

項 目	本年度〔平成30年 4～平成31年3 月〕A	前年度〔平成29年4 ～平成30年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	29,566,351	28,556,940	1,009,411 (%)	103.53	
施設管理費	17,538,505	17,635,340	-96,835 (%)	99.45	
事業費	27,936,616	20,112,377	7,824,239 (%)	138.90	各企画展事業費差による
委託費	5,442,174	4,368,600	1,073,574 (%)	124.57	燻蒸作業費による
事務局経費	4,208,454	3,379,859	828,595 (%)	124.51	経費実績による
合 計	84,692,100	74,053,116	10,638,984 (%)	114.36	

※3 経営状況分析指標

項 目	本年度〔平成30年4 ～平成31年3月〕A	前年度〔平成29年 4 ～平成30年3月〕 B	対比 A-B、A/B		備 考
① 事業収支	-21,673,541	-6,772,585	14,900,956		
② 利用料金比率	5.3%	5.2%	0.1 (%)	101.92	
③ 人件費比率	34.9%	38.5%	-3.6 (%)	90.64	
④ 外部委託費比率	6.4%	5.8%	0.6 (%)	110.34	
⑤ 利用者当たり 管理コスト	1274.5	965.0	309.5 (%)	132.07	
⑥利用者当たり自治 体負担コスト	781.2	756.4	24.8 (%)	103.27	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況 (年度毎下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	備考
①自己資本比率	44.1%	57.7%	51.0%	55.1%	44.9%	
②流動比率	182.1%	304.5%	238.4%	281.4%	191.7%	
③固定長期適合率	15.5%	15.3%	15.9%	15.6%	11.2%	
④総資産経常利益率	-1.8%	-6.5%	7.6%	2.3%	4.4%	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率(\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資本} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

流動比率 (%) = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 【例】 $1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$

③ 固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率 (%) = 固定資産 ÷ (固定負債 + 自己資本) × 100 【例】 $900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$

④ 総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率 = 経常利益 ÷ 総資本 × 100 【例】 $200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50

■ 貸借対照表 (例)

当期純利益	200
-------	-----

■ 損益計算書 (例)

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

<p>特別共催展「アール・ヌーヴォーの華 ミュシャ展」</p> <p>○ボリュームのある展示でとても満足な内容でした。いろいろな種類の展示があり、ミュシャの様々な才能が見れてよかったです。(40代女性、米子市)</p> <p>○装飾資料集・人物集を今回初めて鑑賞しました。大きな作品に目がいきますが、細かい装飾品は、きちんと描きためていた作品が基になっていると感じました。(60代女性、島根県)</p> <p>第58回米子市展</p> <p>○無料でこのような作品が見られて、充実した時間を過ごすことができました。来年は出品できたら良いななんて思い</p>
--

ます。(20代女性、伯耆町)

○洋画部門など若い人の作品が多くてとても楽しめました。(60代女性、境港市)

○新聞で子供がみつけ、見に行きたいと言いました。自分たちも作りたいというので驚きました。(40代女性、米子市)

特別共催展「大山山麓の至宝」

○安綱の太刀が3振並ぶのは壮観でした。古伯耆が堂々とした姿で見られました。(50代女性、東京都)

○とても地肌がよく見えて見やすい展示でした。(50代女性、山口県)

○重要文化財、重要美術品、米子市指定の在銘の安綱は姿、地刃に安綱の見どころをよく備えており、素晴らしかった。

(50代男性、岡山県)

常設展Ⅰ「はたらく人々」

○杵島隆の近くに住んでいたのも、その頃から写真家としての名は聞いていましたが、こんなに沢山の作品は初めて見ました。(70代男性、米子市)

○本展もとても楽しかったのも、とにかく常設展を多くしてほしい。魅力ある作品はけっこうあるはずなのに、見ることができないのは宝の持ち腐れです。(60代女性、米子市)

○米子にこんなに素晴らしい作品が沢山あることを知りませんでした。米子は何も無いところと思っていたので、誇らしく思えた。(70代女性、米子市)

常設展Ⅱ「よなご子ども図鑑」

○笹鹿彪の《小鳥屋》、地元出身の方でこのような作品を残されているのを初めて知りました。(40代女性、米子市)

○チラシが気になって入りました。國頭繁次郎《果実を食う少年》の描き込んだ表現が好き。(70代女性、鳥取市)

特別企画展「金畑実とゆかりの作家たち」

○金畑実《女の子》は、入室して最初に目に入った作品で、とても心が温まりました。女の子の表情が素晴らしい。ゆかりの作家の作品があることで、より深く金畑先生の人となり理解できる展覧会でした。(60代女性、南部町)

○この企画のように丁寧であたたかみのある、心がほっとするような展示をこれからも見せていただけたら嬉しいです。

(40代女性、米子市)